

第3回公共事業評価部会

道路事業に係る残事業B/Cについて

平成21年7月22日
土木部道路課

残B/Cの考え方について

■小野道路改良事業

完成年次：H24年度 部分供用：なし

費用	H22～H24までの費用を計上（残事業費）
便益	H22以降の発現効果（H24完成の翌年から50年分）を計上。

■みやぎ県北高速幹線道路整備事業

完成年次：H23年度 部分供用：H22年度

費用	H22～H23までの費用を計上（残事業費）
便益	H22以降の発現効果（H22部分供用の翌年から50年分）を計上。（H23完成の翌年に便益を修正）

■坂津田道路改良事業

完成年次：H28年度 部分供用：なし

費用	H22～H28までの費用を計上（残事業費）
便益	H22以降の発現効果（H28完成の翌年から50年分）を計上。

残B/Cの考え方について

■松崎道路改良事業

完成年次：H24年度 部分供用：H18年度

費用	H22～H24までの費用を計上（残事業費）
便益	H22以降の発現効果（H24完成の翌年から50年分）を計上。（H18部分供用の便益を考慮しない）

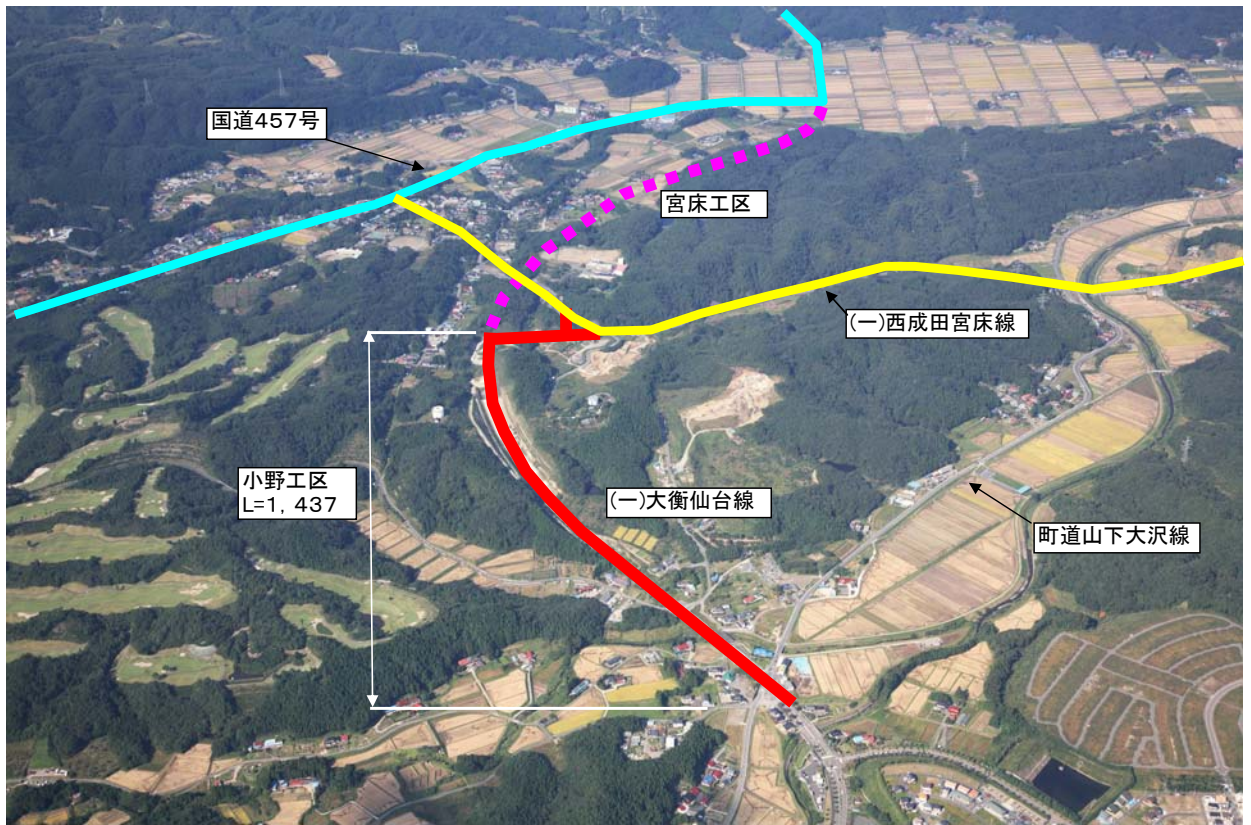
■小平道路改良事業

完成年次：H22年度 部分供用①：H20年度
部分供用②：H21年度

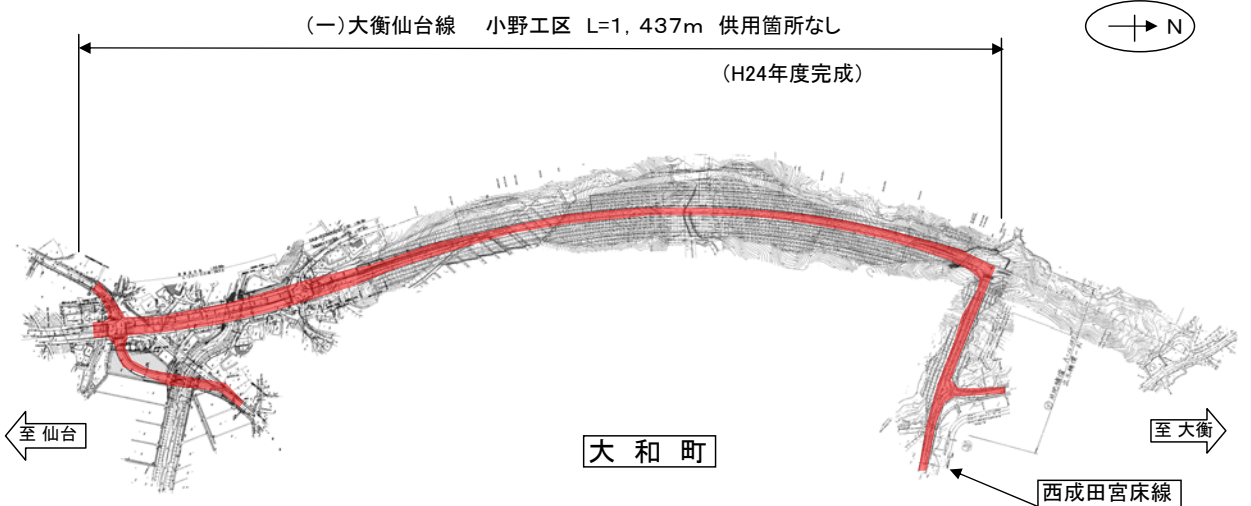
費用	H22の費用を計上
便益	H22以降の発現効果（H22完成の翌年から50年分）を計上。（H20,21部分供用の便益を考慮しない）

一般県道 大衡落合線 小野道路改良事業

部分供用なし



(平面図)



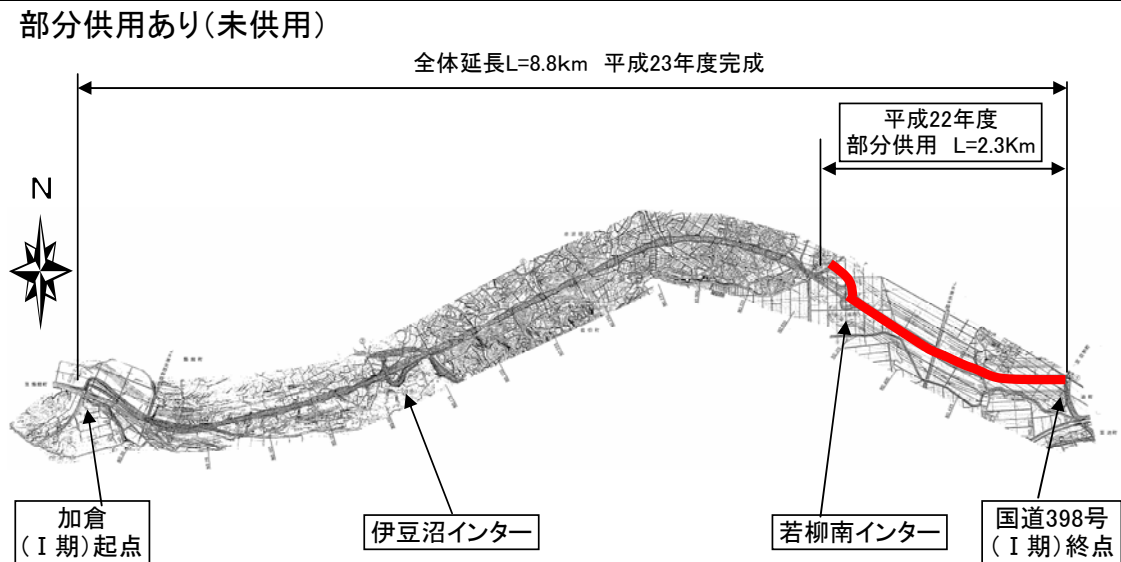
全
体
平
面
図

費
用
対
効
果

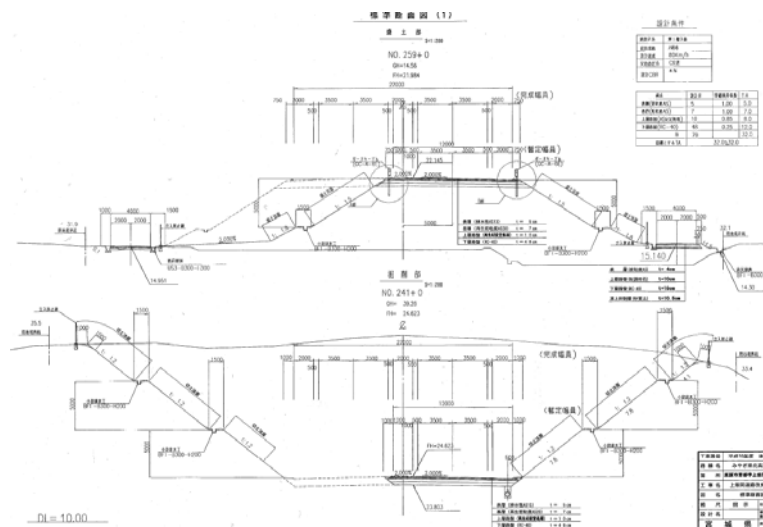
改築費(残事業)	6.9億円
維持管理費	2.0億円
合計	8.9億円
現在価値(C)	7億円
走行時間短縮便益	410.2億円
走行費用減少便益	92.0億円
交通事故減少便益	23.5億円
合計	525.7億円
現在価値(B)	212億円
費用便益比(残事業)	30.3

主要地方道 築館登米線 みやぎ県北高速幹線道路整備事業(I期)

概要図



標準横断面図



費用対効果(残事業)

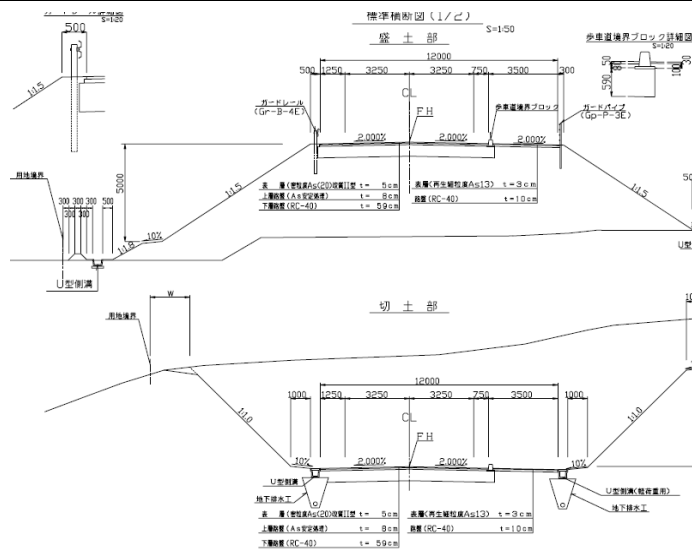
改築費(残事業)	25.4億円
維持修繕費	15.8億円
合計	41.2億円
現在価値(C)	30億円
走行時間短縮便益	1062.9億円
走行費用減少便益	162.8億円
交通事故減少便益	74.6億円
合計	1300.3億円
現在価値(B)	549億円
費用便益比(残事業)	18.3

部分供用なし

概要図



標準横断面図



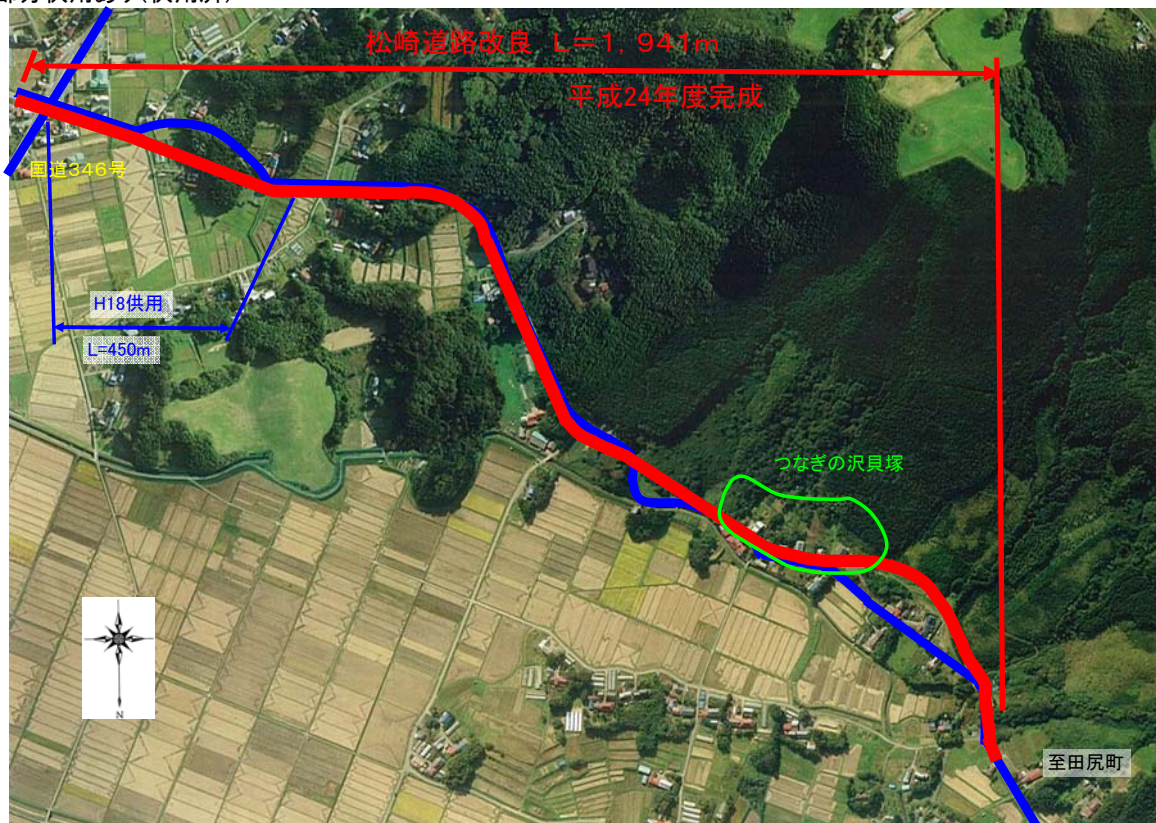
費用対効果(残事業)

改築費(残事業)	9.1億円
維持修繕費	2.5億円
合計	11.6億円
現在価値(C)	9億円
走行時間短縮便益	98.3億円
走行費用減少便益	10.0億円
交通事故減少便益	0.5億円
合計	108.8億円
現在価値(B)	36億円
費用便益比(残事業)	4.0

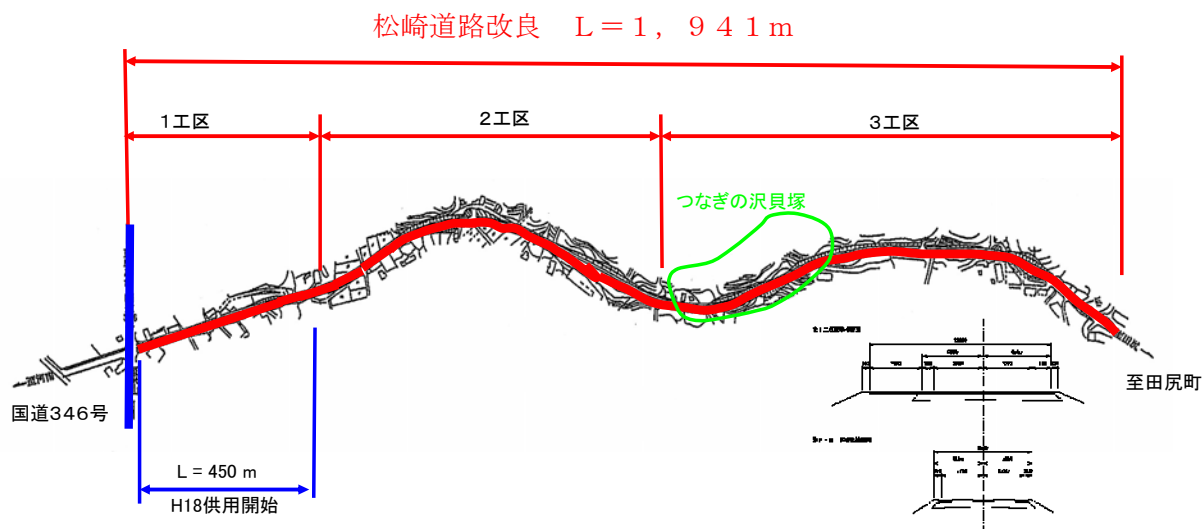
主要地方道 河南築館線 松崎道路改良事業

部分供用あり(供用済)

概要図



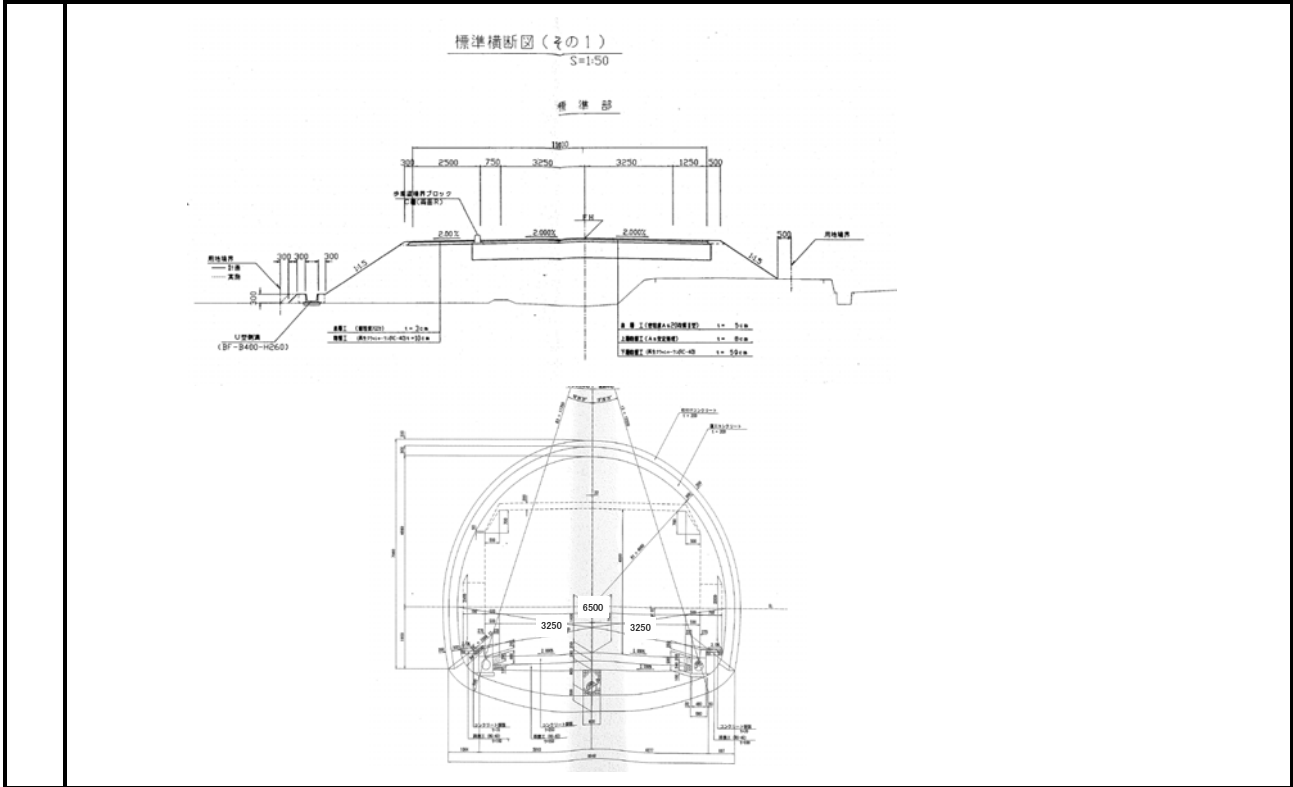
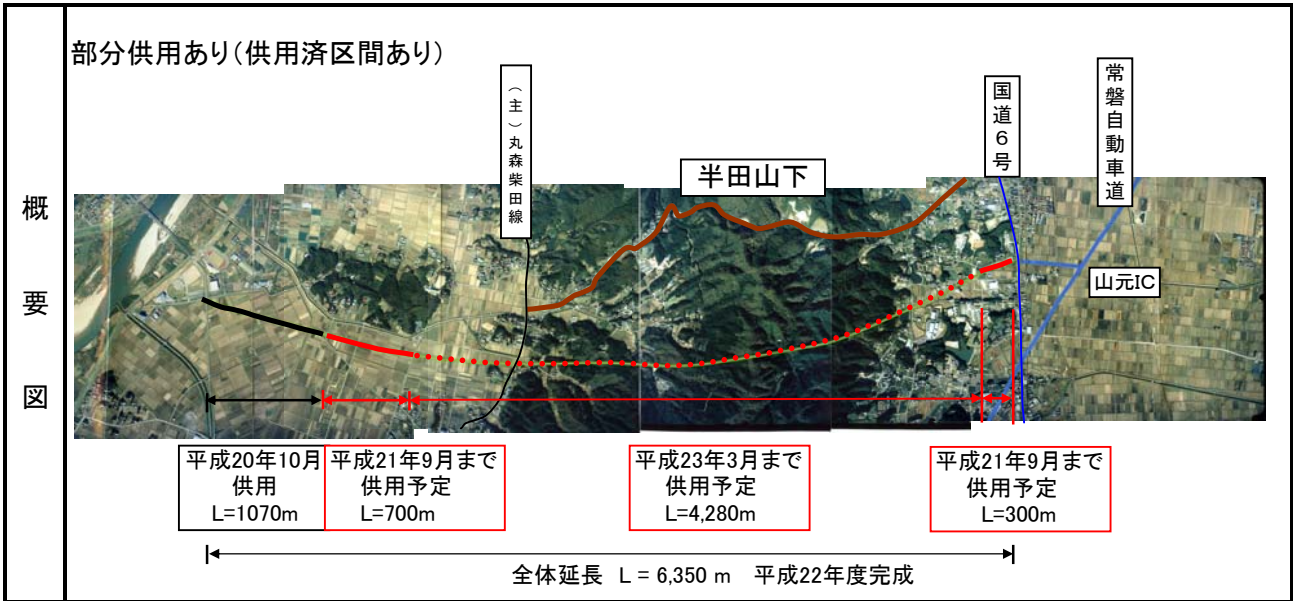
平面図



費用対効果

改築費(残事業)	2.8億円
維持修繕費	2.0億円
合計	4.8億円
現在価値(C)	4億円
走行時間短縮便益	10.0億円
走行費用短縮便益	7.5億円
交通事故減少便益	5.5億円
合計	23.0億円
現在価値(B)	9億円
費用便益比(残事業)	2.3

一般県道半田山下線 小平道路改良事業



費用対効果

改築費(残事業)	8.7億円
維持修繕費	5.0億円
合計	13.7億円
現在価値(C)	10億円
走行時間短縮便益	690.0億円
走行費用減少便益	65.4億円
交通事故減少便益	32.1億円
合計	787.5億円
現在価値(B)	340億円
費用便益比(残事業)	34.0